

かんしょの試験

1. 試験目的(重点開発目標)

(1) 青果用品種の選定

【試験目的】 北海道に適する青果用品種を選定する

【求める特性】 ①多収(早期・低温肥大性)、②良食味(甘い)、③外観・形状良など

2. 試験方法

(1) 青果用品種の選定

ア. 処理区/供試品種

・供試品種 : 「シルクスweet」、「栗かぐや」(カネコ)

「ベニアズマ」、「べにはるか」、「ゆきこまち」(種苗元:三好アグリテック)

イ. 栽培方法

・植付時期 : 5/26

・収穫時期 : 10/2~10/4

・施肥(N,P,K kg/10a) : N:4.6、P:11.4、K:14.9

・栽植様式 : 畝間 110cm、株間 35cm、栽植密度 2,597/10a

・防除 : 場内慣行に準じる

・前作 : 甜菜(茎葉はすきこまず持ち出し)

ウ. 調査項目

・収量、障害、食味等

エ. その他補足事項

・試験区は 20 株/区(10 株×2 畝)×3 反復とした。

・マルチはダークグリーンマルチを使用した。

3. 生育概況

・活着は順調であった。

・6月中旬~収穫までは平年以上の気温で推移し、積算気温は2,767℃であった。地上部草勢はやや強めで推移した。

・8月中旬までは継続的な降雨が少なく、一時干ばつ傾向になる時期があったが、萎れはなかった。収穫前~収穫日にかけて降雨があった。

4. 試験結果概要

(1) 青果用品種の選定

ア. 「シルクスweet」

・上芋収量は2.8t/10a、A品収量は2.1t/10であった。肉質は粘質で甘みは強かった。

イ. 「ベニアズマ」

- ・上芋収量は 4.1t/10a、A 品収量は 3.1t/10 であった。肉質はや粉質～粉質で甘みは中程度であった。風味が良好であった。

ウ. 「べにはるか」

- ・上芋収量は 2.7t/10a、A 品収量は 1.9t/10 であった。肉質は粘質～ヤ粘質で甘みは強かった。「シルクスweet」と比較し、早期の甘みは劣ったものの、中後半から甘みが出る傾向が認められた。

エ. 「ゆきこまち」

- ・上芋収量は 3.7t/10a、A 品収量は 2.9t/10 であった。肉質はや粘質～中でヤ弱～中程度であった。舌触りが独特であった。

オ. 「栗かぐや」

- ・上芋収量は 3.2t/10a、A 品収量は 2.7t/10 であった。肉質はや粉質～粉質で甘みは中～ヤ強かった。風味が良好であった。

表 令和5年度 ホクレン長沼研究農場 かんしょ品種開発試験結果

No	品種 系統名	育成元 ^{※1}	種苗元 ^{※2}	上芋 ^{※3}		平均 ^{※4} 一個重 (g)	上芋規格			条溝	皮脈	障害等 ^{※5}		
				(t/10a)	A品 ^{※3} (t/10a)		50~199g (%)	200~399g (%)	400g~ (%)			裂開	曲・括	萌芽
1	シルクスweet	カネコ種苗	カネコ種苗	2.8	2.1	244.7	37.4	40.1	10.8	微	無	無	無	微
2	ベニアズマ	農研機構	三好アグリテック	4.1	3.1	285.3	35.5	28.8	22.0	微	無	無	無	無
3	べにはるか	農研機構	三好アグリテック	2.7	1.9	204.1	46.9	31.2	5.1	無	無	無	無	微
4	ゆきこまち	農研機構	三好アグリテック	3.7	2.9	282.3	35.2	31.4	20.5	微	無	無	無	微
5	栗かぐや	カネコ種苗	カネコ種苗	3.2	2.7	249.9	43.1	22.9	14.4	無	無	無	無	無

※1 育成元：品種・系統の育成元

※2 種苗元：種苗の販売元

※3 上芋：50g以上の芋 A品：上芋の中で障害や規格外要因に含まれない芋

※4 上芋の一個重平均

※5 障害等：圃場における遠視調査（無・微・甚の3段階で評価）

・植付：5/26（斜め4節）

・収穫：10/2~4

食味コメント

- シルクスweet：肉質は粘質で甘みは強い。比較的早期から甘みがあり、食味良好。
- ベニアズマ：肉質はや粉質～粉質で甘みは中程度。風味良い。
- べにはるか：肉質は粘質～ヤ粘質で甘みは強い。シルクスweetと比べ早期の甘みは弱い、中後半から甘みがでる。
- ゆきこまち：肉質はや粘～中で甘みはや弱～中程度。舌触りが独特であった。
- 栗かぐや：肉質はや粉～粉で甘みは中～ヤ強い。風味良い。

・10月（蒸し芋）、11～1月（焼き芋）の食味総評

・「ゆきこまち」は10月（蒸し芋）の食味のみ